

臨床試験セミナー 統計手法コース (CT)

参加者の声 ～参加者アンケートより～

■ 臨床試験概論

- 生物統計の沿革が理解でき、動機付けとして最適な興味深いお話を拝聴できて感動しました。
- 統計学の歴史を一から学ぶことが出来たため、有用な講義だと感じた。
- 臨床試験と統計学が歩んできた道のりが歴史とともに理解することができました。また、間に現代の医薬品開発の実情等をお話いただき、大変参考になりました。
- 臨床試験や、生物統計の歴史的な背景なども踏まえたお話でとても興味深く学ぶことが出来ました。

■ 統計学の基礎

- 医薬品開発がどのように統計学を必要としているのかを歴史を通じて学ぶことが出来ました。
- 統計学の基礎をわかりやすく説明していただき、例題も多く理解しやすかったです。
- 全般にわかり易かった。特に統計の基本的な概念が頭に入った。
- SAS を使用しなくても、計算式や歴史を踏まえての考えなどもあり、分かりやすかったです。

■ 確率・統計演習

- 統計を改めて基礎から学ぶ事が出来、とても役に立った。また、演習問題もあり、実際に自分自身で考える事で理解が深まった。
- 統計学の基礎の復習になりました。例題も豊富で実際に手を動かして確認ができて良かったです。
- 独学では抜けていた理論的な内容が体系的に整理できた。
- 期待値や分散など数学的観点かつ基礎的な部分から学ぶことが出来た。

■ デザイン

- ほとんどの試験デザインが網羅されていたので、この資料を使って復習すれば、大抵のデザインに関しては把握できるように思いました。
- 事前課題の論文の内容にも触れていただけたので、論文の読み方を学ぶことが出来た。
- 当コース参加前に、推奨参考図書を読んで予習をして臨んだので、その内容が講義の内容と重なる部分がありより理解が深まりました。

■ 相関と回帰

- 理論面での説明に歴史的背景を交えながら講義いただいたので、とても面白かったです。
- 歴史と実例を含めてお話頂けた事で、話に引き込まれました。統計の素人の私にとって一番大事な点だと思います。興味が深まり、説明も分かりやすかったです。
- 概念の説明だけでなく幾何学的解釈を加えた説明まであったのが良かった。また、統計学者の歴史についてもご講義くださり面白かった。

■ 統計解析入門①

- 基礎的な数理統計学の知識を踏まえて、臨床開発で必要とされる統計解析手法の理論と実践を学習することが出来ました。
- 治験薬に効果があるかどうかを最終的に判断する仮説検定について丁寧な解説があった。対立仮説側見た時の話もあり興味深かった。
- 症例数設計を実際に SAS を動かして計算することによって一層理解が深まった。

■ 統計解析入門②

- 最尤法や回帰分析、最小二乗法等、考え方や求め方、結果の見方も含め知る事ができ、勉強になりました。
- 最尤法について丁寧に解説していただき、分かり易かったです。
- 一般化線形モデルの枠組みについて等、次に繋がる内容も多々ありましたので、スムーズに次の講義に入ることが出来ました。
- 最尤推定量の算出について丁寧な式展開の別資料が役立った。計算式における数字の動きが理解できた。

臨床試験セミナー 統計手法コース (CT)

参加者の声 ～参加者アンケートより～

■ 分散分析入門

- 分散分析とは何をしているものなのか、本質の部分が初めて理解できた感触を得られました。
- 相関と回帰との違いや解析における難しさも含めて詳細に説明いただき、勉強になりました。
- 誤差を加味しない解析を行うことで間違った結果を生む危険性を学ぶ事が出来た。分散分析と多重性をまとめて学ぶことが群間比較の基礎を t 検定などに積み上げて考えることが出来た。
- 分散分析について基礎から応用まで教えていただき勉強になった。

■ 計数データの扱い

- 分割表の解析は避けて通れない道であるため、このような機会に丁寧に教えていただけて良かった。
- 比較的数理色の強い内容で、検定法の使い分けなどに留まらず数式などもある程度残しておいてくれたので、自分で考える余地が大きく面白かった。
- 論文でよく見かけるロジスティック解析とオッズ比を理解する事が出来た。
- 変数の特徴に応じてどのようなアプローチがあるのか、何が重要なのかを丁寧に説明いただいた。

■ 一般化線形モデルの基礎

- t 検定等を統計モデルで表現していく所など、一つ一つのステップを丁寧に説明下さったので分かり易かった。
- これまで t 検定や回帰分析、分散分析など、様々な解析手法について学びましたが、それぞれをモデル化した場合の結果の見方等、実際に SAS を使用しながら確認出来て良かった。
- 様々な推定や検定が一般化線形モデルによって行うことができると分かった点。
- 検定法の違いなど視覚的に示していただき、理解しやすかった。

■ 生存時間解析

- 学部や大学院で生存時間解析を受講していたが、それらとは異なった捉え方で説明していただき、理解が深まった。実際の Clinical Trial の例を用いて講義を進めてくださったので、各モデルの背景やどのような目的でそのモデルを用いるか、までを理解することが出来た。
- 個人的に生存時間解析という難しいイメージがありましたが、講義を聞くとそんなイメージも崩れるような衝撃を受けました。

■ 経時測定データ解析

- 非常に理解に苦しむ経時測定データ解析について、特に混合モデルと GEE の違いについて、とてもわかり易くご説明いただき、頭がクリアに整理されました。
- 経時測定データにおいて欠損値をどう扱うか聞きたいと思っていたので本講義で聞くことが出来て良かったです。混合効果モデルはどうアプローチする物なのか、一般化測定方程式との違いを理解する事が出来ました。
- 混合効果モデルについてゆっくり講義してもらったおかげで理解が進んだ。

■ 宿題

- 同じ問題、回答でも各発表者によって、図表が少しずつ違ったり、自分が全く気がつかなかった点、新しい視点を発表されていたりととても勉強になった。内容も勿論だが、発表の仕方がとても上手な方も多く社内で統計担当者以外に発表する際に参考にしたいと思った。
- 複数の発表を聞く事で自分以外の視点(解析や解釈)に気付く事が出来た。
- 先生の補足もさることながら、他の会社の方がどのようなものを考えるのかを知る事ができ勉強になった。

■ 全般を通して

- 想像以上に有益なコースでした。これをきっかけに、統計の勉強を継続していきたいと思います。
- 統計学の数学的な側面から臨床的な側面まで網羅されており、基礎知識のない自分でも分かり易い内容でした。講義内容を元に研鑽を続けたいと思います。
- 統計学の基礎的なところは既に学んでいたため、知っていることも多かった。しかし、他の会社の方の考え方を知る事が出来たり、先生でなければ語れない話を聞く事が出来たりと、期待よりもよい経験が出来ました。